

# 地域とのつながりはほんの小さなことから

## 地域の方の温かい声かけが社会とつながるきっかけに

私たちは、利用者の皆さんの相談や要望に沿った介護計画に基づき、ヘルパーが「家事援助」や「身体介護」を行っています。利用者の身体的・精神的な状況に応じた適切なサポートを行い、自立した生活を送れるように支援しています。

障がいのある方やご家族にとって地域から「孤立」してしまうことが一番怖いこと。そこで利用者のお宅を訪ねる際は、「笑顔」の声かけを心がけています。日々の会話やふれあいを重ね、少しずつ心を許してくれる利用者の姿が嬉しく、やりがいを感じています。ただ、この事業も若い世代の人手が足りませんが、少しでも興味・関心のある方は一度見に来てほしいと思います。

また、地域の皆さんによる「声かけ」も障がいのある方にとってはとても大切です。何げないあいさつ一つあるだけで、障がいのある方が社会に入っていくきっかけに成り得るのです。

障がい者支援サービスを提供している皆さんに、日頃の活動や想いを聞きました。

障がい者居宅介護事業所  
まつおか薬局ホームヘルプサービス  
サービス提供責任者 山本 さと子 さん(前列右)



## 自分に合った仕事を自分のペースで

就労継続支援B型事業所 みどりの丘えまつ  
サービス管理責任者 柿下 雅子 さん(中央左)

地域の皆さんには、日頃から仕事面や生活面で利用者をご支援いただき本当に感謝しています。利用者には、レクリエーションや体験学習などを楽しんでもらいながら「自分に合う仕事」を自分のペースでやってもらうようにしています。自分が得意なことを仕事にすることで、達成感が生まれて日々の充実につながります。そんな利用者の姿を地域の皆さんにもぜひ見てほしいと思っています。みどりの丘とえまつは、いつでも皆さんがお越しくださるのをお待ちしております。

利用者やそのご家族ともに高齢化が進み、今の活動を維持していくためには、地域の皆さんの協力が欠かせません。障がいのある方もそうでない方も地域の一員であることを、誰もが意識できれば、この町に暮らす全ての人にとって住みやすい町になっていくのではないかと思います。

また、今年は披露する機会はありませんでしたが、芸術活動の一環で習っている「銭太鼓」をぜひ地域の皆さんに見ていただきたいと思っています。



## 利用者同士の交流が自分自身を知るきっかけになります

就労継続支援B型事業所みどりの丘  
職業指導者 羽倉 良江 さん

みどりの丘では、毎日の作業を中心に利用者同士の交流を持ち、お互いを思いやる気持ちや礼儀作法について助言をしながら、日常生活に困らないようにするためのお手伝いをしています。

障がいのある方だけでなく誰にでも苦手なことはあります。利用者には一人で悩むことがないように、毎日顔色を見て、「どうかしたの？」などと声をかけ、自分らしい自立した生活を送れるように支援しています。

地域の皆さんには、利用者の作業をお手伝いしていただく中で、ふれあいの時間も大切にいただき、とても感謝しています。「障がい」について、もっと多くの方たちへの理解を促す場が広がり、これからを担う世代へとバトンタッチができれば良いと感じています。

地域の温かい支援が、利用者の将来につながっています。



# 差別や偏見による「壁」を解消するために

障がいには様々な種類があり、個人によっても違いがあります。

皆さんが誤解しやすい主な例を紹介し、障がいのある方などがどのような配慮や援助を必要としているかを知ることから「誰もが暮らしやすいまち」が始まります。

障がいの種類	障がいの状態	援助のヒント
発達障害	広汎性発達障害(自閉症など)、学習障害、注意欠陥多動性障害など、脳機能の発達に関する障がいです。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本人の行動を否定したり、注意したりしない</li> <li>● 抽象的な表現は使わず、具体的に説明する</li> </ul>
精神障害	統合失調症、うつ病、アルコール依存症などの精神疾患により、外見からはわかりづらい日常生活や社会生活の不自由さを抱えている状態をいいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ストレスに弱くコミュニケーションが苦手なので無理に励まさない</li> <li>● 本人の話を否定せずに聞く</li> </ul>
知的障害	知的機能の障がいが発達期(おおむね18歳まで)に現れ、日常生活に支障が生じているため、何らかの援助を必要とする状態です。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 困っている様子の人には「どうしましたか」「何かお手伝いしますか」と穏やかな口調で声をかける</li> <li>● 短い文章で、ゆっくりと丁寧に話しをしたり、説明したりする</li> </ul>
肢体不自由	上肢や下肢の麻痺や欠損などにより、日常の動作や姿勢保持が困難な方、脳性麻痺の方などがいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 段差のある場所での移動を補助したり、高い所にある物を手渡したりするなどの援助をする</li> <li>● 脳性麻痺の方の中には、会話が困難な方もいるので、一語ずつ確認する</li> </ul>

障がいの種類や程度に応じて、相談員が当事者に最適な援助・支援を提案し、関係団体と調整を図りながら以下のようなサービスを提供しています。

また、「若あゆ会」という、精神障害のある方やそのご家族のための相談会を開催しています。

## 若あゆ会

精神障害に関する制度や福祉サービスなどに関する情報交換会。参加者の経験を共有することで、自分自身を理解することができます。

- 開催日は2ヵ月に1回
- 偶数月の第3木曜日
- 次回は12月17日

## 就労継続支援B型

利用者の働く場と居場所を合わせた非雇用事業所。自立した生活を送れるように支援しています。



## 居宅介護

在宅での入浴の援助、調理や洗濯のお手伝いをしています。

